

令和4年度 スクールカウンセラーの利用状況報告について

(1) 利用者延人数

利用者	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	保護者	教員	その他	合計	前年同期
小学校	957	1,474	1,012	931	999	1,538	2,170	5,479	197	14,757	13,779
中学校	694	359	834				799	2,335	80	5,101	4,963
										19,858	18,742

(2) 内容別延件数

相談内容	利用者 人数	小学校						中学校					
		児童	保護者	教員	その他	合計	前年同期	生徒	保護者	教員	その他	合計	前年同期
		回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数
①不登校		605	598	919	47	2,169	1,530	764	365	840	17	1,986	1,870
②いじめ		36	13	43	1	93	65	2	2	4	0	8	13
③友人問題		1,094	89	424	34	1,641	1,740	132	6	73	0	211	161
④問題行動等	暴力行為	29	19	49	2	99	71	12	5	19	0	36	29
	非行・不良行為	44	8	52	0	104	126	2	2	4	0	8	21
⑤情緒不安定		752	234	652	4	1,642	2,004	204	57	298	5	564	447
⑥性格・行動		1,346	551	1,527	5	3,429	2,624	81	68	200	1	350	400
⑦生活習慣		86	45	83	0	214	187	12	13	11	0	36	28
⑧身体・健康		56	23	55	0	134	182	54	37	60	2	153	98
⑨学習・進学		180	114	272	5	571	620	99	74	133	4	310	275
⑩家庭・家族		325	58	259	18	660	925	68	26	95	5	194	173
⑪虐待		31	3	25	0	59	60	1	0	8	0	9	6
⑫対教師		72	25	86	0	183	159	15	7	9	0	31	11
⑬部活等		1	1	2	0	4	2	10	2	14	0	26	22
⑭自己理解		42	15	7	0	64	31	116	0	19	0	135	141
⑮子育て		19	107	35	0	161	142	3	40	9	0	52	63
⑯発達障害		276	198	530	6	1,010	1,041	107	75	200	12	394	394
⑰カウンセリングの方法		11	13	62	12	98	36	0	1	18	0	19	14
⑱学外との連携		28	9	42	31	110	85	3	4	6	6	19	23
⑲話相手		1,421	1	41	0	1,463	1,370	158	2	16	0	176	187
⑳貧困の問題		9	0	0	0	9	35	0	0	0	0	0	2
㉑ヤングケアラー		0	0	1	0	1	-	4	0	2	0	6	-
㉒その他		448	46	313	32	839	744	40	13	297	28	378	585
合計		6,911	2,170	5,479	197	14,757	13,779	1,887	799	2,335	80	5,101	4,963

【主な特徴】

- 利用者延人数は、令和3年度と比べて、小学校では約1000人、中学校では約100人増加している。
- 内容別には、小学校では⑥性格・行動が最も多く、次に①不登校、⑤情緒不安定、③友人問題の順に多い。
昨年度と比較し、⑥性格・行動、①不登校などの項目が増加している。
- 中学校では①不登校が最も多く、次に⑤情緒不安定、⑯発達障害、⑥性格・行動の順に多い。
昨年度と比較し、①不登校、⑤情緒不安定などの項目が増加している。